

交通安全について

A議員 黒埼町道路交通取締条例の执行的運用はどのようなものか。また、これらの指導計画、実施はいかなるものか。

環境課長 昭和二十五年に制定され現在の道路交通法(三十五年)の前にできている。歩行者自転車、車馬を対象としたもので現在の実情に合わないため、廃止したい。最近この条例に基づいた取締りはやっていない。

農業共済事業の諸問題について

B議員 今後の農業共済事業と運営の取り組み方としてどのような施策を考えているのか。産業課長 薬剤の防除については従来どおりである。

B議員 隣接市町村では航空防除をしているが本町はどうか。産業課長 一回のヘリコプターで約二百町歩必要である。経費は西川町で十アル四八千八百九十円(他市町村もほぼ同額のたぬ数は省略)である。農業共済の剰余金については検討したいが航空防除も各地区で二百町ほどまともれば考えていきたい。



役場庁舎内の総合警備と対策について

B議員 十月四日から産業課と建設課が分室するが、それを含めて役場庁舎、中央公民館の警備はどうなっているのか。総務課長 分室、公民館は日本警備保障(株)に任せてある。役場は夜泊まり番をおいているが、高齢なので憂慮している。日曜日は女子職員一人なので検討したい。

福祉目当てのかたり防止について

B議員 県外から福祉を頼りに来るいわゆるかたりがいるが、防止対策はあるのか。福祉課長 以前実際にあったと聞いている。防止対策はこれといった決め手がないのが実情である。今まで処置として千円さし上げてきたが、今後も対策を郡内で協議していきたい。

町民会館の建設について

C議員 郡内にある町民会館およびそのような施設の状況を知りたい。町長 弥彦村、巻町に文化会館、西川町に福祉会館、味方村、岩室村、分水町、吉田町、そして本町に公民館、湯東村、中の口村に環境改善センター、月瀉村に就業改善センターがある。

C議員 本町では農村総合整備モデル事業のうち農村環境改善センター建設で町民会館と併用する考えのようであるが、規模施設内容などは適合できるのか。また、町民会館の基金が三千万円あるがどうなっているのか。五七一九の実施計画によれば五九九年に作るとなっているが、建設時期はいつなのか。センターの場所は総合体育館周辺というゲートボールとテニスコートがある。上手か下手か。

町長 町民会館と環境改善センターの兼用は考えていない。財政、有効利用を考えると環境改善センターが先になると思う。環境改善センターは来年度から取り組みたい。場所は上手の方になると思う。

企画調整課長 環境改善センターは設計で一年、二、三年めが本工工事、四年めが内装で造園

通学路の安全確保と下水路整備について

C議員 黒埼高校から須上線、また黒鳥方面の黒鳥用水路に防犯灯を設置すべきだと思いが町の考えは。鳥原新田宗村建設協の県道と町道の交差点ならびに町道裏堤防線と鳥原本村人口の交差点に信号機を設置してもらいたいのが促進しているのか。

大野町裏の通学路は下水路沿いの町道のため事故が度重なっている。事故防止対策と非衛生的な下水路の整備計画はどうか。

町長 下水道は早期に取り組みたいが、財政が厳しく理解してほしい。

須上線から高校前に本年度五灯つけた。五八年度は黒鳥方面も設置したい。電気量は町で負担しているが、管理は高校にお願いしている。

環境課長 県の公安委員会から裏堤防線は五九年度までに設置する回答があった。今後設置の要望を書面等で行いたい。建設課長 財政が厳しく土地改良区と協議はしているが予算化はできていない。農業用排水路におりこんでもらいたいのだが町裏はその対象になっていない。町長 下水道は早期に取り組みたいが、財政が厳しく理解してほしい。

今、本町で青年会議所設立の動きがあり機運も高まっています。九月には発起人会(右下参照)も発足し、町にもアピールしようとして十月十二日(火)、役場で趣旨説明会が開かれました。説明会には発起人会から七名、設立に協力している(前)新潟青年会議所から四名、新潟大野ライオンズクラブ、大野町商工会からそれぞれ代表一名、そして町側から町長、助役、他二名が出席しました。

まず、新潟青年会議所から青年会議所の設立方法、理念、活動などの説明があり、町長は「こ



▲10月12日、町長を混じえて趣旨説明会

我々も町作りに参加しよう 青年有志が青年会議所設立へ

れでいいのかということに常に若者から考えて行動してもらいたい」と激励しました。この後、具体的な設立過程や実際の活動また問題点などが討議され、まとめると次のようになります。

①青年会議所メンバーは二十歳から四十歳の次代の担い手により構成される。

ンバーは千人に一人という目安があるが、本町の場合五百人に一人となる。

④政治的には中立。そして、自主独立運営のためにもコストはすべて会費でまかなう。

このような青年会議所は早ければ今年中にも設立される予定です。発起人の一人大谷一男さん(木場)は「設立も運営も容易ではないが、九月の説明会には三十五人も集まり自信を持つ

お問い合わせ、参加希望者(20~40歳)は 黒埼青年会議所・発起人会 大谷一男(木場) ☎7-2276 山際淳一(大野八区) ☎7-5348 勤務先7-5295 島山正樹(鳥原) ☎9-2252 勤務先7-6419 山際輝充(鳥原) ☎7-2677 勤務先7-5366 高橋 勇(中学通り) ☎7-6776 志賀 勝(柳作) ☎8-7607 勤務先7-3157 笠井 隆(大野八区) ☎7-2131 横村直衛(諏訪町) ☎7-2252 広瀬徳男(板井) ☎7-3431 勤務先7-2633

町長の日誌

浅妻 次一郎

九月二十三日(木)、第九回歩行者競技大会が西警察署で開かれ、わたしも案内をいただき大変いさつを述べた機会があった。大会で西警察署長から現在の交通事故の実態を聞き深く考えさせられた。

わたしはこの引越しが新庁舎が完成しての移動であったならなあと考えた。そして、分室による不都合な面と被害を最少限度にとどめ、困難を克服し全職員が協力して総合庁舎の建設にがんばり、住民と一体となつて一日も早く喜びを迎えることを願った日でもあった。

九月二十三日(木)、第九回歩行者競技大会が西警察署で開かれ、わたしも案内をいただき大変いさつを述べた機会があった。大会で西警察署長から現在の交通事故の実態を聞き深く考えさせられた。

わたしはこの引越しが新庁舎が完成しての移動であったならなあと考えた。そして、分室による不都合な面と被害を最少限度にとどめ、困難を克服し全職員が協力して総合庁舎の建設にがんばり、住民と一体となつて一日も早く喜びを迎えることを願った日でもあった。

れでいいのかということに常に若者から考えて行動してもらいたい」と激励しました。この後、具体的な設立過程や実際の活動また問題点などが討議され、まとめると次のようになります。

②「奉仕」「修練」「友情」を三原則とし、地域社会に貢献すると同時に自己修練もする。

③会員は最低でも四十人を確保したいが、人口二万の本町ではそれが可能か。(青年会議所メ

十月二日(土)、定例課長会議。広報でお知らせしたとおり、現庁舎が手狭になったため分室することとし、その打ち合わせである。二日(土)、三日(日)は産業課、建設課が新幹線事務所に引越し、中央公民館、庁舎内も各課の移動でこたえが返したが無事完了し、四日から執務ができることになつ

わたしはこの引越しが新庁舎が完成しての移動であったならなあと考えた。そして、分室による不都合な面と被害を最少限度にとどめ、困難を克服し全職員が協力して総合庁舎の建設にがんばり、住民と一体となつて一日も早く喜びを迎えることを願った日でもあった。